

これからの学校を考える

NPO法人子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール

副理事長 森谷 正孝

1 ヨコの関係の仕組みをつくる

①地域住民の学校運営への参画の促進

②地域力を活かした学校支援

③学校力を活かした地域づくり

2 タテの関係の仕組みをつくる

・保・幼・小・中の連携 → 一貫

3 生徒指導と授業の一体化

(1) 生徒指導に対する基本的な考えの共有

◇厳しい生活背景を持つ子供（ネグレクト、虐待、DV→自尊感情→大人への不信感）

①目線を下げる

②今を認める

③とにかく聴く（心を開く・・・どんな育ち、憤り、つらさ）→時間がかかる

④無視・排除をしない

(2) 学校改革の究極は授業

◇すべての子どもの学びを保障する授業

・すべての子どもに居場所の確保（一斉授業の限界）

・つながる先は教室（遠い教室を克服）

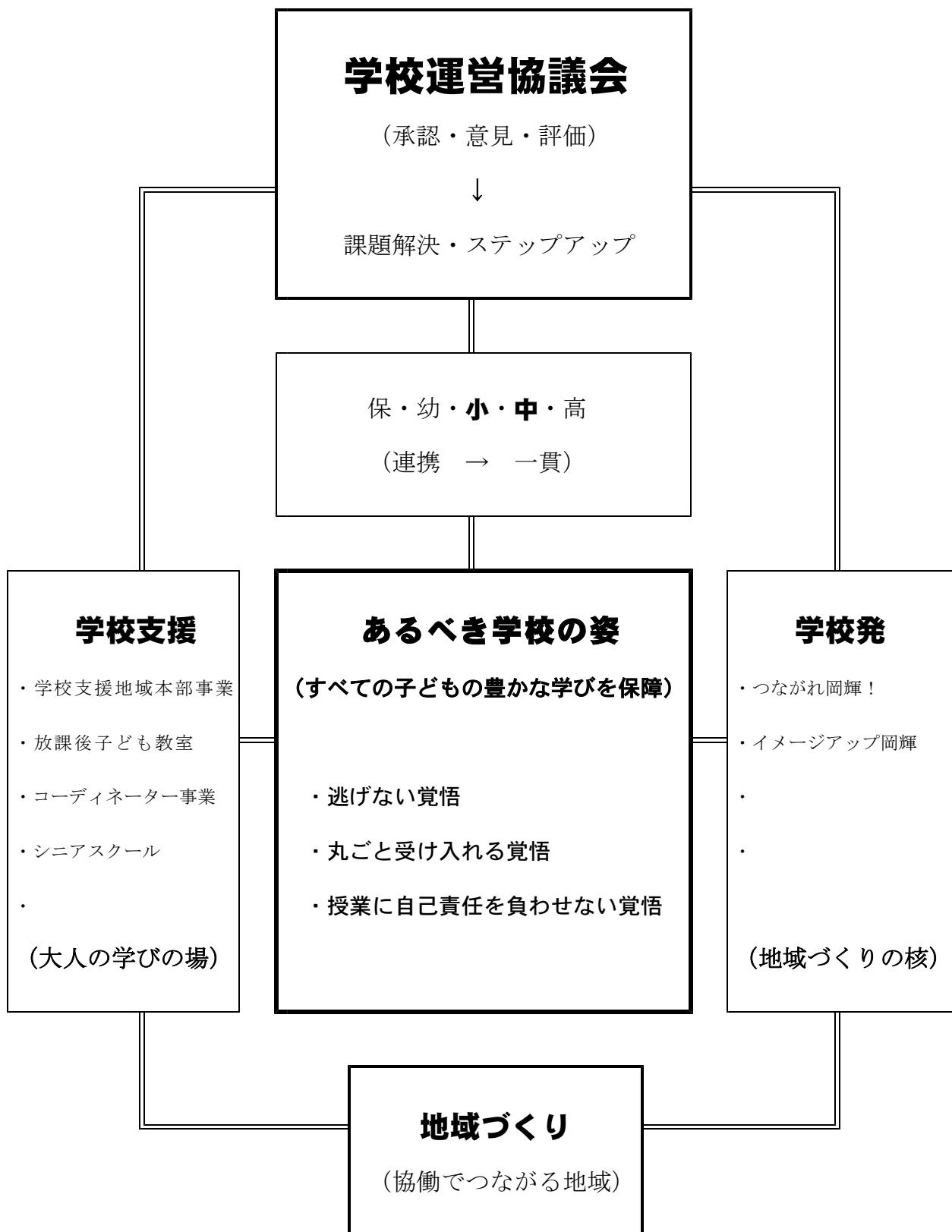
上記実践のための教師の3つの覚悟

①逃げない覚悟

②丸ごと受け入れる覚悟

③授業に自己責任を負わせない覚悟

地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）



コミュニティ・スクールへの第一歩

- (1) 47条の5、市町村運営規則の理解
- (2) 現場発信
- (3) 学校運営協議会の設置（コミュニティ・スクール）
- (4) 運用（中学校区を意識）
 - ①単独校園の学校運営協議会を基本として中学校区の連絡協議会での情報共有
 - ②中学校区の連絡協議会が学校運営協議会の責任と権限を持つ
- (5) 全体組織はシンプル
- (6) 具体的な運用にあたって
- (7) 急がない（期間限定ではない）

〈成果〉

- ①安心感（一人じゃないよ クレーム対応）
- ②緊張感（モチベーションの継続）
- ③学校思考回路にない意見や取組

※最大のメリット

創り上げたものが崩れにくく、常にステップアップに向かう。

〈その他〉

- ①選ぶ学校から地域とともに創る学校へ
- ②いろいろに子供がいておもしろい公立（地域立）学校（たくましく生きる力）
- ③良い地域に良い学校を、良い学校を良い地域から